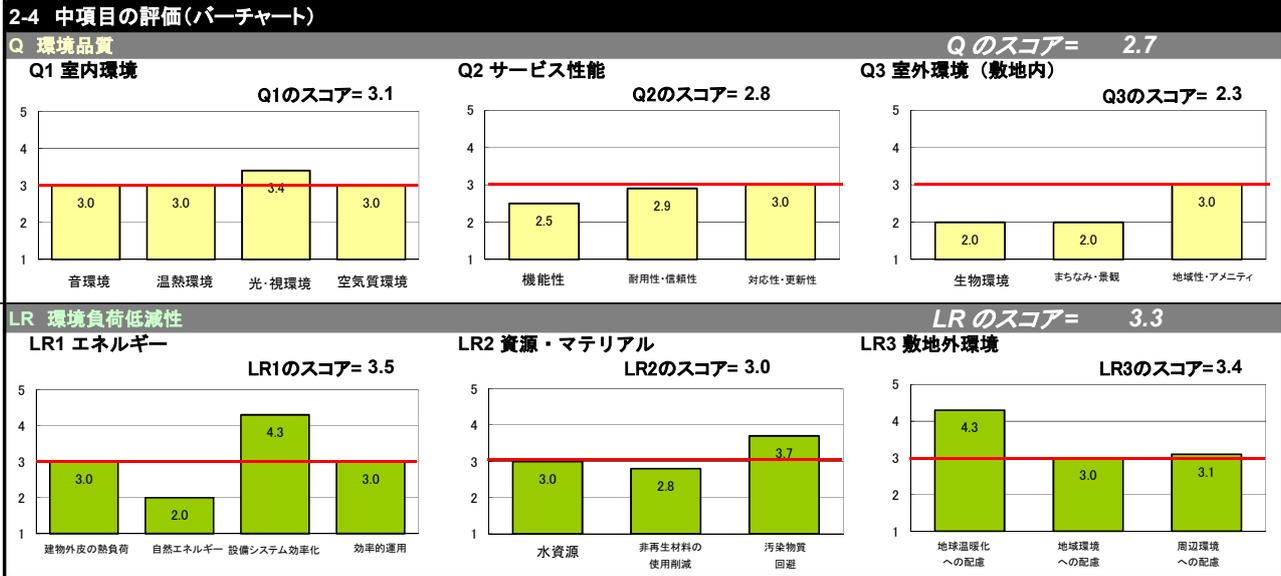
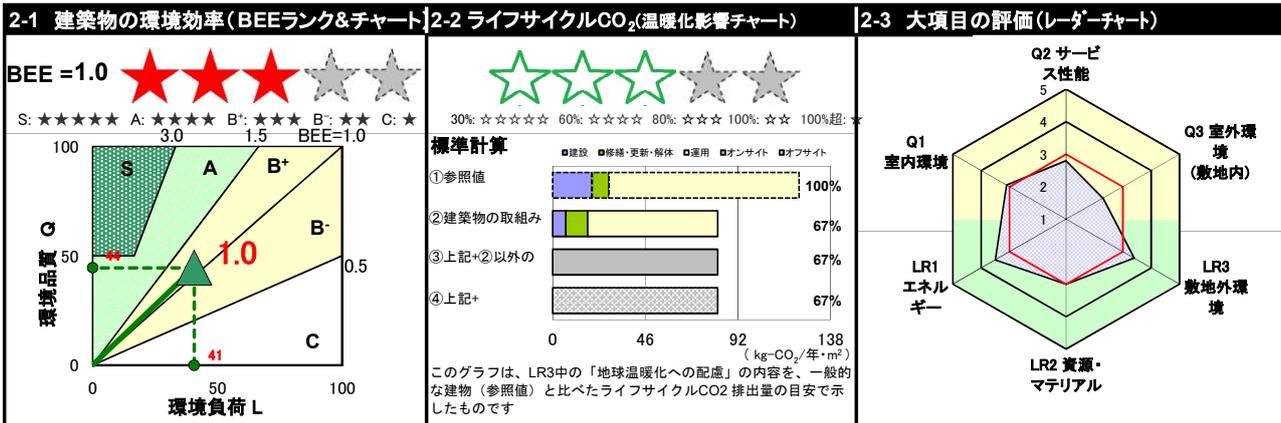


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢市片瀬海岸一丁目計画	階数	地上14F
建設地	藤沢市片瀬海岸一丁目2864番2	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	158人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2015年11月20日
敷地面積	770 m <sup>2</sup>	作成者	(株)オンズデコ
建築面積	314 m <sup>2</sup>	確認日	2015年11月25日
延床面積	3,270 m <sup>2</sup>	確認者	(株)オンズデコ



### 3 設計上の配慮事項

<p><b>総合</b></p> <p>当敷地は江ノ島電鉄江ノ島線江ノ島駅西部に位置し、近隣には最近多くのマンションが建設されている。集合住宅の設計に際し、計画上の配慮としては近隣を含めた空間環境を壊さずに、いかに空間環境にマッチするかを配慮した。(外観・建築物の規模等)又、外構の計画においても、出来るだけ緑地を増やし、緑化計画における空地率・緑化率の増大に配慮した。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>特にありません。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>音環境に関しては、重・軽衝撃音の低減を重視した。温熱環境では、品確法による等級3のレベルで断熱材を施工する。空気環境に関しては、仕上材料はF☆☆☆☆☆基準の材料を使用します。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>機能性に関しては、特に配慮はしていません。耐用・信頼性に関しては、建築物構造部分の耐用年数を長くするため品確法(劣化)による等級3の材料で施工します。住宅設備等に関しても、品確法(維持管理)による等級2のレベルで施工する。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>敷地内の環境に関しては、敷地の空地率を出来るだけ増加させ、その部分への植栽を計画しています。又、空地率の増加による風等による影響の低減を考慮します。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>省エネルギーに関しては、集合住宅であるので共用部分の照明機器・照明器具は省エネルギー仕様の製品を使用します。又、給湯にはエコジョーズを使用します。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>汚染物質に関しては、空調機器はフロン等の環境汚染物質は使用しません。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>周辺の環境に関しては、ベランダ手摺を腰壁とし近隣へのグレアの影響を低減しています。又、外壁の表示等は発光する様な表示は行いません。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される